

安全データシート

改訂日:2022年3月16日

1. 製品及び会社情報

製品名
会社名
住所
電話番号

硝酸セリウム(IV)アンモニウム
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
CB1981

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性
ラベル要素

酸化性固体:区分2



絵表示又はシンボル
注意喚起語
注意書き

危険
火災促進のおそれ;酸化性物質
【安全対策】
熱から遠ざけること
衣類/可燃物から遠ざけること。
可燃物と混合を回避する為の予防策を講じること。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
【応急処置】
火災の場合、適切な消火剤を使用すること。
【保管】
可燃物及び禁忌物質から離して保管すること。
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
【廃棄】
内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に委託して処理すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
別名

化学物質
硝酸セリウム(IV)アンモニウム
硝酸二アンモニウムセリウム
セリウム及びその化合物 (PRTR法)
硝酸セリウム(IV)アンモニウム 95%以上
 $Ce(NH_4)_2(NO_3)_6$
(1)-395
CAS RN: 16774-21-3

成分及び含有量
化学式又は構造式
官報公示整理番号 (化審法、安衛法)
化学物質を特定できる一般的な番号

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

直ちに新鮮な空気の所に移し、体を保温し医師の手当てを受ける。
汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹼を用いて十分に洗浄する。
速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。
水で口中を洗い、多量の水を飲ませる。意識のない場合は水等を与えてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合
飲み込んだ場合

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性

水噴霧、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
棒状放水
燃焼性は無いが、可燃物をより燃えやすくする。
高熱により分解し有害ガスを発生する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

特有の消火方法

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
回収、中和

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
保護手袋、保護眼鏡、保護衣、空気呼吸器
河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
粉塵が立たない方法でこぼれた物質を容器内に掃き入れる。
金属製の用具で衝撃、摩擦を与えないようにする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	適切な保護具を着用する。
局所排気・全体換気	局所排気装置を設置する。
安全取扱い注意事項	
接触回避	目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。
保管	
技術的対策	法令に従った保管をする。
適切な保管条件	直射日光を避け、換気が良く、光の当たらないすずしい場所に保管する。 火気厳禁。
混触危険物質	硫黄、リン、有機物等の可燃性物質
容器包装材料	ポリプロピレン、ポリエチレン
8. 暴露防止及び保護措置	
許容濃度	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	該当情報なし。
保護具	
呼吸器の保護具	該当情報なし。
手の保護具	保護手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業衣を着用する。
衛生対策	取扱後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状态	結晶
色	橙色
臭い	無臭
融点・凝固点	108℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	該当情報なし。
燃焼性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火温度	不燃性
分解温度	185℃
pH	1 20℃ (50g/L)
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	1410g/L (20℃)
n-オクタノール/水分係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	2.49 g/cm ³ (20℃)
相対ガス密度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
安定性	通常の取り扱いにて安定
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	該当情報なし。
混触危険物質	該当情報なし。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素
11. 有害性情報	
急性毒性	該当情報なし。
皮膚腐食性・刺激性	該当情報なし。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	該当情報なし。
誤えん有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	
生態毒性	該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層に対する有害性	該当情報なし。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号

1477

品名

その他の無機硝酸塩類

国連分類

5.1

容器等級

II

輸送又は輸送手段に関する特別の

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

消防法の規定に従う。

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

140

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない(2023年(令和5年)3月31日まで)
第一種指定化学物質〔セリウム及びその化合物〕
(2023年(令和5年)4月1日以降)

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない。

労働安全衛生法

施行令別表第1危険物(酸化性の物)

消防法

危険物第1類酸化性固体(硝酸塩類)

船舶安全法

危規則第2条危険物等級5.1酸化性物質

航空法

施行規則第194条危険物酸化性物質

港則法

施行規則第12条危険物(酸化性物質)

16. その他の情報

引用文献

16615の化学商品 化学工業日報社
NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
GESTIS Substance Database

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。